

京大新聞

行設部 二月 五五五五
行設部 二月 五五五五
行設部 二月 五五五五

醫學部芝蘭會 卅周年記念の催し

十一日は植物園で大懇親會
十二日は公開講演會

醫學部芝蘭會は、創立三十周年を記念して、十月十一日（日）午後二時、植物園で「大懇親會」を開催し、出席者は、芝蘭會役員、教職員、卒業生、関係者等、約五百名に達した。懇親會は、芝蘭會の歴史、現在の活動、今後の展望等、関係者同士の懇話が盛んで、大いに盛況を博した。十二日（月）午後七時、同部講堂で「公開講演會」を開催し、芝蘭會の歴史、現在の活動、今後の展望等、関係者同士の懇話が盛んで、大いに盛況を博した。

諸權威を動員して 日本文化講義

三回六時間にわたり

文部省は、日本文化の普及を期して、十月十一日（日）午後七時、同部講堂で「日本文化講義」を開催し、出席者は、関係者等、約五百名に達した。講義は、芝蘭會の歴史、現在の活動、今後の展望等、関係者同士の懇話が盛んで、大いに盛況を博した。十二日（月）午後七時、同部講堂で「公開講演會」を開催し、芝蘭會の歴史、現在の活動、今後の展望等、関係者同士の懇話が盛んで、大いに盛況を博した。

講義開設と同時に 日本文化研究會成立

文部省は、日本文化の普及を期して、十月十一日（日）午後七時、同部講堂で「日本文化講義」を開催し、出席者は、関係者等、約五百名に達した。講義は、芝蘭會の歴史、現在の活動、今後の展望等、関係者同士の懇話が盛んで、大いに盛況を博した。十二日（月）午後七時、同部講堂で「公開講演會」を開催し、芝蘭會の歴史、現在の活動、今後の展望等、関係者同士の懇話が盛んで、大いに盛況を博した。

新村出博士 めでたく還暦

新村出博士は、十月五日、めでたく還暦を迎えた。新村氏は、言語学の第一人者として知られ、その業績は、言語学の発展に大きく貢献した。新村氏は、言語学の第一人者として知られ、その業績は、言語学の発展に大きく貢献した。

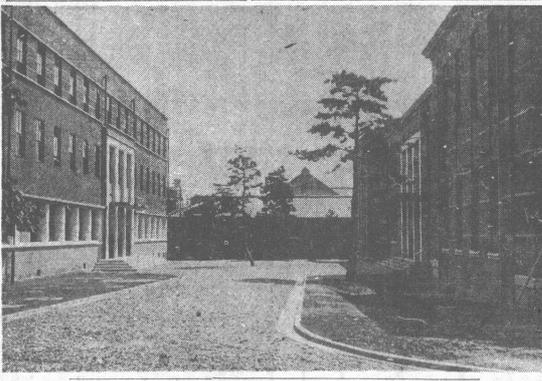


恒例の建築展

十一月、十二日開催
建築展は、十一月、十二日に開催される。建築展は、建築の歴史、現在の活動、今後の展望等、関係者同士の懇話が盛んで、大いに盛況を博した。

日本化学繊維研究所 伊藤萬助氏の寄附

日本化学繊維研究所は、伊藤萬助氏の寄附を受けた。伊藤氏は、化学繊維の研究に大きく貢献した。伊藤氏は、化学繊維の研究に大きく貢献した。



秋空に聳ゆる文部省新館前 記者撮影

業績をた、へ

野上俊夫教授は、その業績をたたえられた。野上氏は、その業績をたたえられた。野上氏は、その業績をたたえられた。

CORONA STANDARD
英、佛、独、米、日、各種
小型、中型、大型、各種
見てもわかる
黒澤南商店 電話 1435
東京 文部 電話 1,104

現代長篇小説全集

昭和文壇の神品久遠の寶玉
篇として今秋の出版界を完全
行はせる劃期的大全集！

諸名家の讀解

豪華版全五巻

新 生島崎藤村
題未定 志賀直哉
今年 竹見里見
長篇小説 室生犀星
由利旗 江岸田園
風雨強 谷津津和郎
戀愛合戦 宇野浩二
鼓打 長崎片岡鐵兵
紋章 雅歌 横光利一
人生劇場 尾崎士郎
歌工 小林多喜二
青 年 林房雄
銀座 八丁 武田麟太郎
流 丸立野信之
薔薇の 蝶 宇野美千代
見本 宇野美千代
進 宇野美千代
初編 宇野美千代
川端康成氏日誌

決定版

人生劇場

崎尾 篇 劇 場

本配回一第

房書笠三

三省堂の最新刊

獨逸浪漫主義

難波田春夫著

人口論發展史

都市政策の理論と實際

六六六の獨逸社會主義

待望の「昭和十一年新版」出來！

新六法入王書

特輯六法全書 現行法令全條約集

模六法全書

三省堂編輯所編

三省堂編輯所編

三省堂編輯所編

反目睽離し行く日支

木 廣 重 雄

日支の關係は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、日支の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、日支の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、日支の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

日支の關係は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、日支の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、日支の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

支那抗日の一觀點

潘 村 幸

支那の抗日運動は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、支那の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、支那の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

支那の抗日運動は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、支那の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、支那の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

税制改革案の批判

税制改革案の批判は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、税制改革の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、税制改革の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

税制改革案の批判は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、税制改革の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、税制改革の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

賣上税を中心として

小山田 小七

賣上税を中心として、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、賣上税の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、賣上税の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

賣上税を中心として、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、賣上税の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、賣上税の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

内外時事

大山千代雄

内外時事の動向は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、内外の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、内外の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

内外時事の動向は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、内外の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、内外の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

金本位制の終焉

金本位制の終焉は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、金本位制の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、金本位制の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

金本位制の終焉は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、金本位制の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、金本位制の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。



藤田作商店

呼吸器病科

京都保健院 藤田 富田 精

呼吸器病科の診療は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、呼吸器病科の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、呼吸器病科の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

呼吸器病科の診療は、最近十年來、異常な急激な進歩を遂げ、呼吸器病科の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。これは、呼吸器病科の間に、一種の「反目睽離」の空氣が、益々濃厚になつて來た。

加藤一夫新著 四卷五頁 定價二角

聖書

特色の本 聖書は世界第一の偉大な書である。世界第一の偉大な書である。世界第一の偉大な書である。世界第一の偉大な書である。

西田哲學の根本問題

西田 哲學 著 四卷五頁 定價二角

!! たつたかたき 聖書はイニエの眞の聖書

日本語政策 (最新刊) 藤田 保科 孝一 著

2 歴史、意識、教育、政治、経済、社会、文化、宗教、文学、芸術、科学、技術、産業、交通、通信、医療、福祉、環境、エネルギー、情報、宇宙、未来

日本文法史

小林 好日 著 四卷五頁 定價二角

徳川言語の研究

湯澤 幸吉 著 四卷五頁 定價二角

刀江書院

東京市神田區河原町三丁目八番地

電話 東京 七三三・一八一

国井書店 祥文堂書店 工ヤ書店

古書籍豊富買入評價確實 新刊書籍 雑誌 教科書 参考書 醫學書籍は特に豊富取揃ります

御不用書御整理の際は御報上

御用 丸太町 電話 七九九七

ロマン・ロランと アンドレ・ジッドの近況

ロマン・ロランの近況... (Article text about the authors)

今秋の美術界

今秋の美術界... (Article text about the art world)

文学への道

文学への道... (Article text about literature)



時 (口絵) 岡田謙三

京阪雑記

京阪雑記... (Column text about Kyoto and Osaka)

文学への道 (continued text)

御家庭への一大福音!! (Advertisement for a household machine)

カメラ (Advertisement for cameras)

就職写真 (Advertisement for a photo studio)

アテナインキ (Advertisement for Athena Ink)

祝学生會館第一次竣工 (Advertisement for the new student union building)